様式第 3

特定施設の種類及び能力ごとの数変更届出書
 特定施設の使用方法

年 月 日

藤 沢 市 長

届出者 住 所
 氏 名

(名称及び代表者氏名)

振動規制法第 8 条第 1 項の規定により、特定施設の種類及び能力ごとの数の変更について、
 特定施設の使用方法
 次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		整理番号						
工場又は事業場の所在地		受理年月日 年 月 日						
		施設番号						
		審査結果						
		備 考						
特定施設の種類	型 式	公称能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)

- 備考
- 1 特定施設の種類及び能力ごとの数又は特定施設の使用の方法に変更がある場合であっても、振動規制法第 8 条第 1 項ただし書きの規定により届出を要しないこととされるときは、当該特定施設の種類の欄には記載しないこと。
 - 2 特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第 1 に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
 - 3 印の欄には、記載しないこと。
 - 4 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
 - 5 氏名(法人にあってはその代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。

振動の処理方法概要書

(単位 デシベル)

発生源である施設等					
A 発生源での振動レベル		$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$
振動対策による減衰値	B 防振対策による減衰				
	C 距離減衰	$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$	$\frac{m}{dB}$
	D その他				
	E 減衰値合計 B + C + D				
敷地境界線での振動レベル予測 A - E					
防振対策の具体的内容					
施設の使用時間		時分～時分	時分～時分	時分～時分	時分～時分
当該事業所に適用される規制基準値		【午前8時から午後7時まで】 dB		【午後7時から午前8時まで】 dB	
添付図面		施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離を示した図面			